

平成 27年 3月 26日 00214号

編集者:佐藤 寿春

# 北見武道通信

北見市幸町 8丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

## ニュースレター【柔道情報】

### 北見練心会少年部中学 3 年生卒団式！

3月19日(木)午後7時30分北見市武道館道場1には、利用者66人観客を加えると約90人を超える人たちが集まっていました。その中で北見練心会少年部の中学生3人の卒団式が行われました。先ず、卒団する3年生にお世話になった後輩の選手が対戦する壮行試合行われた後、卒団生に後輩のみんなから記念品が贈られ卒団生3人から感謝の言葉と激励の挨拶が述べられました。卒団する伊藤咲季さんは「私は札幌の高校で柔道を続けます。途中、柔道を辞めたくなくなった時もあるけれど、続けてきてよかったです。みなさんも柔道頑張りてください。」と後輩達に挨拶をし、激励の拍手を贈られていました。



### ☆...\*°☆北海道警察官採用試験合格☆°\*...☆

平成26年度北海道警察官採用試験に北見商業高等学校卒業 鹿又悠太君が見事最終試験に合格し、4月9日(木)に北海道警察学校で行われる入校式を経て警察官の第一歩を踏み出します。2歳から北見練心会で柔道を始め、指導者でもある父や多くの先生・先輩の指導を受け現在講道館柔道2段を取得しています。商業高校柔道部では、後輩にも慕われるキャプテンを務めていました。鹿又くんは「両親はもちろんです。今日まで指導して下さった先生方や先輩、同級生や後輩達など多くの方々に支えられて高校を卒業、警察官採用試験に合格することができました。これまでの感謝の気持ちを皆様の安全を護る頼れる警察官になることで恩返しになればと思っています。」と感謝の気持ちとこれからの抱負を語ってくれました。(山本)



## 連載 「武道宝鑑」 第2弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

### ○自己内容の充実向上②

私なども、ある時は夢に稽古したこともある。或る時は沈思黙考、工夫に時を忘れたこともある。然し容易に会得する事が出来ぬ。今日こそはと意気込んで道場に飛び出し後進の人々と稽古しつつ自らの工夫をも試みるが、仲々思うように行かぬ、そこで又工夫する。が、それでも思わしくないという風で、技術だけの習得にしても、その至難な事は私のしみじみ体験するところである。或る時は後進の氏との掛ける技に翻然として悟事すらある。かかる時には、私は心ひそかに後進者の人に感謝の念を捧げるを得ない。技術方面のみに於いて既に然り、況んやその精神方面に至っては更にさらに至難である。私など、驚馬に鞭つて、日夜その事に心を用ふるとはいへ、その進歩は誠に遅々たるものである。それでも矢張り自棄せず、日夜孜孜として努力している訳である。よき指導をしようとするには、どうしても指導者自身が、技心ともに充実鍛錬されたものを持っていなければならぬ。それには、日夜にその向上を志し、考えては練り、練っては考えて、己れ先ずこの至難な修行を一歩ずつ切り開いていかなければならない。

つづく